

1926

FORMS FOR
FRAGRANCE

CA.1900

FORMS FOR
FRAGRANCE

EARLY 20TH

FORMS FOR
FRAGRANCE

MID 19TH

FORMS FOR
FRAGRANCE

1937

FORMS FOR
FRAGRANCE

19TH

FORMS FOR
FRAGRANCE

1919

FORMS FOR
FRAGRANCE

CA.1900

FORMS FOR
FRAGRANCE

1923

FORMS FOR
FRAGRANCEFORMS FOR
FRAGRANCE

18TH

FORMS FOR
FRAGRANCE

19TH

FORMS FOR
FRAGRANCE

1925

FORMS FOR
FRAGRANCE

1910

FORMS FOR
FRAGRANCE

MEIJI PERIOD

FORMS FOR
FRAGRANCE

1942

FORMS FOR
FRAGRANCE

FORMS FOR FRAGRANCE

TREASURES FROM THE TAKASAGO COLLECTION

香りの器

高砂コレクション展

2021.1.9 SAT - 3.21 SUN

〔休館日〕水曜日〔開館時間〕午前10時～午後6時(ご入館は午後5時30分まで)〔入館料〕一般 1,000円 / 65歳以上900円 / 大学生700円 / 中・高校生500円 / 小学生以下無料 ◎20名以上の団体は100円割引 ◎障がい者手帳をご提示の方、および付添者1名まで無料でご入館いただけます〔主催〕パナソニック汐留美術館、東京新聞〔後援〕在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本、港区教育委員会〔特別協力〕高砂香料工業株式会社〔企画協力〕岡村印刷工業株式会社、株式会社求龍堂、株式会社アートワン〔お問い合わせ〕ハローダイヤル050-5541-8600 <https://panasonic.co.jp/ls/museum/>

Panasonic
Shiodome Museum of Art
ROUAULT GALLERYパナソニック
汐留美術館

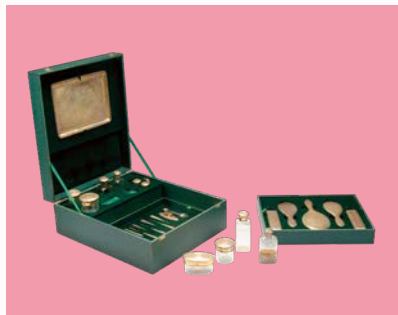
香りの器 高砂コレクション展

FORMS FOR FRAGRANCE

TREASURES FROM THE TAKASAGO COLLECTION



古代オリエントの香油壺にはじまり、近代ヨーロッパの生活を華やかに彩った陶磁器やガラスで作られた様々な香水瓶など異国の香りの器。あるいは香道の道具類にみられる贅を極めた漆工芸品、また陶磁器、金工品による香炉や香合といった我が国の伝統的な香りの器。本展では、高砂香料工業株式会社が長年にわたり収集してきたこれらの香りにかかわる質の高いコレクションから、およそ240点を選びすぎり展覧いたします。香りとその器の歴史は人類の誕生とともに始まったとも言われます。古今東西の香りに関する工芸作品を鑑賞することは、奥深い香りの歴史と文化に触れることに他なりません。加えて、東京会場である当館の展示では、国内の美術館から特別出品作品を迎え、香りを想起させる貴婦人の肖像画や、アール・デコ時代を象徴するような作品をご紹介します。香りの器が、同時代の絵画やデザインと深く関連付くものであることも実感いただけるでしょう。



上段作品左上から右へ：サンルイ 香水瓶「ラムセスII世(ビシャラ社)」1928年、赤色ガラス香水瓶 18世紀 中段作品左上から右へ：ルネ・ラリック 香水瓶「夜に(ウォルト社)」1924年、浜松塩屋蒔絵十種香箱 明治時代 20世紀、花蝶文香水瓶 / パウダー容器 1900年頃、マッピン・アンド・ウェップ社 化粧道具セット 1910年、ルネ・ラリック 香水瓶「ドルセイの騎士、フランスの花、ドルセイの名声(ドルセイ社)」1920年 以上すべて高砂コレクション アンドレ・グルー(デザイン) / マリー・ローランサン(絵付け) / アドルフ・シャノー(制作) 椅子 1924年頃 東京都庭園美術館蔵、マリー・ローランサン アンドレ・グルー夫人 ニコル(旧姓ボワレ) 1913年頃 マリー・ローランサン美術館蔵

表面作品左上から右へ：ルネ・ラリック 香水瓶「光に向かって(ウォルト社)」1926年、エミール・ガレ 草花文香水瓶 1900年頃、ベルリン王立磁器製陶所 色絵天使文香水瓶 20世紀初頭、装飾枠付三組香水瓶 19世紀中頃、ルネ・ラリック 香水瓶「カランダール(モリナル社)」1937年、被せガラス水玉文香水瓶 19世紀、青色ガラス金彩草花文香水瓶 19世紀、幾何学文香水瓶 1920年頃、ルネ・ラリック 香水瓶「ジェイソー」1927年、マーブル文長頸香水瓶 1世紀、マルク・ラリック 香水瓶「いちずな願い(ウォルト社)」1944年、ルネ・ラリック 香水瓶「ユーカリ」1919年、赤絵式把手付香油瓶 前6世紀、被せガラスエナメル金彩花文香水瓶 19世紀、ビルストン エナメル草花文香水瓶 18世紀、マイセン 色絵香水瓶「子犬」19世紀、ドーム兄弟 百合文香水瓶 1900年頃、被せガラスエナメル金彩花文香水瓶 19世紀、赤緑ガラス金彩草花文香水瓶 19世紀、ウェッジウッド 天使文香水瓶 18世紀後半、ボール・ボワレ/ジュリアン・ヴィアール 香水瓶「道化(ロジュー社)」1923年、ロイヤルクラウンダービー 色絵金彩唐草文透彫ボブリット 19世紀初頭、赤色ガラスエナメル草花文アトマイザー香水瓶 1930年頃、ボタン文ベズリー形香水瓶 17世紀、鶴蒔絵香枕 江戸時代18世紀、ルネ・ラリック 香水瓶「りんごの花」1919年、長頸香水瓶 1-3世紀、七宝花鳥文香炉 明治時代、カットガラス望遠鏡付香水瓶 19世紀、セーブル 草花文ボブリット 18世紀、被せガラス金彩草花文香水瓶 19世紀、ルネ・ラリック 香水瓶「美しい季節(ウビガン社)」1925年、ルネ・ラリック 香水瓶「アンブル・アンティーク (コティ社)」1910年、マルク・ラリック 香水瓶「喜びの心(ニナ・リッチ社)」1942年 すべて高砂コレクション

関連イベント：オンラインギャラリートーク「展覧会のツボ」を配信予定です。
詳細ならびに、他のイベントについては決定次第公式ホームページでお知らせいたします。

なお、ルオー・ギャラリーにて、当館所蔵のルオーコレクションの中から作品を展示しております。併せてご覧ください。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止策につきまして、当館の取り組みをホームページに掲載しております。ご確認の上、ご来館ください。

次回予告

「クールベと海 - フランス近代 自然へのまなざし -」展
2021年4月10日-6月13日

Panasonic Shiodome Museum of Art | ROUAULT GALLERY

パナソニック 汐留美術館

〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1

パナソニック東京汐留ビル4階

お問い合わせ：ハローダイヤル 050-5541-8600

公式HP：<https://panasonic.co.jp/ls/museum/>



交通のご案内：JR「新橋」駅より徒歩約8分、東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅より徒歩約6分、都営大江戸線「汐留」駅より徒歩約5分